

六甲カトリック教会 教会報

10



六甲カトリック教会

カトリック入門・養成講座・聖書研究会などのご案内

秋からの新しい講座が始まりました。多彩なコースがあります。

こぞって参加し、霊的な経験を豊かにしませんか？

曜日	週	開始時間	クラス名	対象	担当者	開催場所
日	第2・4	11:15	キリスト教入門	入門志願者のみ (紹介者同席可)	増井神父	第3会議室
	毎週	11:00	中高生会	中高生	リーダー	中高生会室
火	毎週	10:00	旧約聖書	どなたでも	中村神父	第3会議室
水	第1・3	10:00	福音の喜びを生きる	どなたでも	こいずみゆり	第5会議室
	毎週	15:00	イエスのたとえ話	どなたでも	中村神父	第3会議室
木	第3	19:00	聖書による信仰入門	どなたでも	吉村信夫	信徒会館
金	第2・4	10:30	聖書と典礼を読む会	どなたでも	藤原 泰	第2会議室
	第2・4	14:00	「ラウダート・シ」	どなたでも	アルフレド神父	第4会議室
	第3	19:00	カトリック教会のカリスマ	どなたでも	アルフレド神父	第3会議室
土	第2・4	17:30	「喜びに喜べ」	どなたでも	Sr. 藤岡	信徒会館
	第1~4(※)	14:30	教会学校	小学生	リーダー	信徒会館
	第1・2・4・5	20:00	旧約聖書	どなたでも	中村神父	信徒会館

※場所・天候などにより、休講になる場合があります。事前にご確認ください。

聖書を原語（ギリシャ語、ヘブライ語）で読む希望者は個別に中村神父にご相談ください。

2019年度第四回地区役員会（2019年9月1日）議事録《要約》

日 時： 2019年9月1日 12:00～12:30

出席者： アルフレド主任司祭、小教区評議会議長、各地区役員

1. 納涼の夕べ <8月17日(土)実施>報告 納涼の夕べ企画チーム
2. バーベキュー大会 <9月29日(日)実施> 壮年会会長より概略説明
3. 教会大掃除について <11月16日(土)9:00～>

・9時より大掃除開始、大掃除終了後地区役員会開催

次回会議

・バザー委員会 10月20日(日)11:30～ 地区役員全員、教会学校、社会活動部出席

・地区役員会 11月16日(土) 教会大掃除終了後開催

バザー委員会議事録 《要約》

日時 :2019年9月1日(日)11:30～13:00

出席者:各地区役員、小教区評議会議長、社会活動部、教会学校

出店内容と出店担当地区 2019年11月10日(日)10時～14時

2019年度各地区担当表(案)

出店内容	地 区	会 場
蚤の市	灘北2・阪神・灘南・神戸西	2F 第1・2会議室
古着	灘北1・北・三田	信徒会館1F
焼き鳥、飲み物フランクフルト等	東灘南	イグナチオホール
中華スープ、豚まん等	東灘北1	イグナチオホール
巻き寿司、お握り、お茶等	灘西・中央	イグナチオホール
カレー	東灘北2・芦屋	イグナチオホール
ゲーム、生徒作品保護者販売	教会学校	信徒会館2F図書室前
喫茶	中高生会	イグナチオホール前ロビー
ボランティアグループ出店	社会活動部	2F 第3・4会議室
書籍	パウロ書店	聖堂風除室

恒例の「チャリティバザー」は、11/10(日)10:00～14:00に開催予定です。

今年も皆さまからの絶大なご協力をお願いいたします！

・「蚤の市」：寄贈品の持込みは10/4(金)～11/3(日)です。聖堂入り口の段ボール箱にお入れください。寄贈品は、未使用・新品・賞味期限内のものに限ります。

・「古着(リサイクル)」：持込みは11/1(金)～9(土)です。信徒会館1Fロビーの奥へお持ちください。洗濯済みの新しいものをお願いします。(注)バザー当日の持込みは受け付けません！

・今年も「各種飲食の模擬店」が出店します。古本市、食券販売はありません。

・チャリティバザーの「主たる献金先」：東テモール聖イグナチオ学院・NPOこどもの里・カトリック社会活動神戸センター等を予定しています。

グループ紹介 六甲教会混声合唱団

私たちは、歌うこと—特に合唱—を楽しむ《六甲教会混声合唱団》です。結成は2001年。男女30名余りのメンバーが、日ごろの練習の成果を病院や老人ホームを訪問し、披露しています。

ローソクを片手に各病室を歌いながら訪れたクリスマス、患者さんやご家族と心を通わせたこと、六甲教会の門の所でイヴの日に、クリスマスソングで信徒の皆様をお迎えしたことなど、なつかしく思い出されます。

2011年2月に教会に聖歌隊が発足するまでは、結婚式・葬儀の聖歌で参加していました。

現在は、毎年「うみの星」（灘・東灘）、「グランダ山手御影」を訪問して、歌うことで喜んでいただけなのが私たちの楽しみの一時です。

毎月第2・第4日曜日に、第2会議室で練習しています。

創立時からご指導くださった十河さんから、今年4月に三浦さんのご指導に代わりました。が、歌うことの楽しさだけは変わりません。

男性のメンバーが少ないため、負担が多く気の毒ですが、抜群の歌唱力で頑張ってくださいています。

メンバーは常に募集しています。特に男性熱烈歓迎です！

興味を持たれた方はご連絡ください。

（ 蛭田 武・藤井 恵津子 ）



山根敏身神父講演「浦上4番崩れ」

9月14日に、講演会「浦上四番崩れ」が、イグナチオホールに約60人の聴衆を集めて開かれました。

講演は、ザビエルの渡来からの宣教時代（渡来55年後の信徒数は75万人）、続く幕府の禁教令と天草の乱と幾度かの大殉教（禁教殉教時代）により、信仰は途絶えたかに見えた250年の潜伏時代、そして幕末の開国と長崎大浦天主堂完成をきっかけにする信徒の発見・浦上四番崩れへと続き、1889年明治憲法で信教の自由に基づく再建時代さらに現代へと時代は流れていきます。

崩れ＝弾圧は五島など他にもまた何度もありましたが、浦上の住民3,400人全員が西日本各地に流刑にされ（『旅』と呼ばれる）、664人が殉教した浦上四番崩れは最大の事件でした。信徒の中心にいた高木仙右工門・守山甚三郎を含む114名は津和

野へ送られ、取分け厳しい弾圧受け、36名が殉教しました。

結びに、私たちが学ぶべきこととして、

1. 迫害の中私たち人間はみな弱い。（神の許しを請おう！）
2. 共同体の中で互いに支えあい、赦しあう。（回心者の援助・気遣い）
3. 親は子どもに何を残すか（何が大切か）

の3点を挙げられました。



山根神父のお話は分かりやすく、乙女峠（津和野）が私たちに語りかける生き方を示してくれるものでした。神父様、有難うございました。

（飯塚 和彦）

典礼奉仕者の集い

9月8日(12:30~15:30) 典礼奉仕者の集いに典礼奉仕者60名が集まりました。中村神父様に講話を頂きました。講話の後は、黙想・分かち合い・全体での意見交換でした。

中村神父様の講話のテーマは「詩編で祈る」でした。

・詩編は、聖書の中の大きな部分である。旧約聖書に基づいたユダヤ人の祈りである。詩編は150篇から構成されており、祈りそのものである。

・人の「喜怒哀楽」が含まれており、神に賛美として捧げられたものである。

・詩編は大きなものを持っている。詩編の世界は果て

しない。

『詩編は、難しいものと思っていたが、神父様のお話を聞いて、判って来た様な気がする』との感想を述べられる方が多くおられました。

8月のミサで、次の言葉に出会いました。

「人の命は草の様、朝には開き花が咲く。夕べにはしおれて枯れる」

無常という事でしょうか。この言葉を心に置き、毎日を大事に大切に過ごして行きたいと思っています。

(歳の所為でしょうか?) (典礼部 川合 弘)



第40回三日月会総会&懇親会を終えて

「三日月会総会と懇親会」が、9月16日の敬老の日に100名近い会員の参加で盛会に行なわれました。今回から会の世話役も新体制でスタート。新年度は「活力ある三日月会を目指して～支え合い、助け合い、奉仕の心も忘れずに～」をスローガンに、年4回の例会に一人でも多くの会員の皆様にご参加いただけるよう、いろいろな企画を準備しています。

総会当日はミサに始まり、2018年度の例会や会計報告、懇親会では、アルフレド神父の司祭叙階銀祝のお

祝い、介護相談「あんしんすこやかセンター」のスタッフの話やハワイアン演奏もありました。

六甲教会は、現在90歳以上70名、80歳以上が270名とお元気な高齢者も多く、70歳代はまだまだ若く、教会内で益々の活躍を期待されています。私たち世話役も先輩が築きあげられたこの組織を、新たな気持ちを持って引き継いでいこうと思っています。

(会長 蛭田 武)





図書室だより

9月に入った図書

使徒的勧告 キリストは生きている

教皇フランシスコ カトリック中央協議会

「あなたの救い主は生きておられるのです」

昨年のシノドス(15回総会)を受けてまとめられた教皇フランシスコ4冊目の使徒的勧告です。

生きておられるキリストからのメッセージを伝え、青年キリスト者を励まし、司牧者や信徒には彼らに寄り添い成長と活躍を支えられるよう示唆を述べています。

ミサ・洗礼・堅信 — フランシスコ講話集



施設管理部園芸係からのお知らせ

和庭園にリンドウ(キキョウ科)が仲間入りしました。

藤棚の東面突き当りにシシガシラ(ツバキ科)の生け垣があります。

この辺りは使い終わった植木鉢等が置かれ雑草が生えていました。

数年前、整理をして植栽が出来るバックガーデンになりました。こちらでは花壇の宿根草を移植して次期の植え替えまで保護しています。

夏前、駐車場の東面に植えられていた珍しい斑

教皇フランシスコ講話集 6 ペトロ文庫

この2冊は今年出たパパ様の講話集です。

喜びと出会うとっておきのおはなし

ギュンタ・ケルクマン ドン・ボスコ社

六甲中学で20年教え、四谷教会などで働かれ、昨年亡くなられたケルクマン神父の『カトリック生活』に51回にわたって連載されたコラムを抜粋再構成したものです。

師の生い立ちや家族との記憶、生徒とのふれあい、メルシュさんのこと…を通して、生き方祈り方を優しく語っています。

入りのカンナを移しました。

如雨露で毎日お水をやってくださった方のおかげで鮮やかな色がよみがえりました。

来夏はこのカンナを表の花壇にデビューさせたいです。5~6月にはタチアオイ(アオイ科)、聖書に中に出てくる植物ジャーマンアイリス(アヤメ科)が華やかに開花します。

是非、バックヤードにも足をお運び下さい。



社会活動部より

10月2日(水)10時-手芸の集い(第1、第2会議室)どなたでも参加ご自由です。

10月4日(金)初金ミサ後-2019年度第2回社会活動部連絡会

10月12日(土)10時-炊き出し(イグナチオホール台所)どなたでも参加

できます。

小野浜グラウンドにて、おじさん達のお話相手や配食だけでもOKです。

10月20日(日)10時ミサ後-ふれあい広場(イグナチオホール) 10月28日(月)9時半-ともしび会-施設の子どもたちへのケーキ作り(イグナチオホール台所)





「祈りと音楽の集いの歩み」

教会のオルガンは日々の典礼や礼拝を支えています。

現在六甲教会に設置されているオルガンは、教団東梅田教会に設置されていた40年間、礼拝を支えるほかに、ミニコンサートやレッスンを通じてたくさんの若手オルガニストを育ててきました。

2010年の夏、六甲教会にこのオルガンが移設されてから、典礼のほかに広くオルガンの音を聴いてもらおう、と始めたのが「オルガンメディテーション」です。聖書の言葉や神父様の祈りを挟んで、教会歴に応じた曲を演奏するこの「オルガンメディテーション」は、現在「祈りと音楽の集い」と名称を変更し、年4回行われています。

復活祭には「イースターチャント」、聖霊降臨、マリア被昇天祭には喜びの音楽を、また死者の日、四旬節の始まりには静かに祈る音楽を、オルガンだけでなく器楽や歌とともに演奏してきました。

今までに、オルガニスト桑山彩子さん（京都カテドラル）浅井寛子さん（イグナチオ教会）椎名雄一郎さん（活水学院大学教授）ジャン・フィリップ・メルカールトさん（那須野が原ハーモニーホール）、またドイツよりフローリアン・ヴィルクスさん（ベルリンカテドラル）、イタリアより吉田愛、アレックス・ガイ氏による連弾。

リコーダー演奏をヘンゼラー神父（イエズス会）、独唱を林裕美子さん（エリザベト音大教授）、Emi 安保さん（ドイツ）緋田芳江さん（元バツハコレギウムジャパン）、また合唱のイグナチオ教会初金

聖歌隊などの方々を教会外よりお招きし演奏していただきました。

演奏家の皆さんも国や教派を超え、コンサートの後の茶話会では、信徒はじめお客様との交流も深めています。

六甲教会信徒にもプロの音楽家がたくさんおり、ボランティアで演奏していただく一方、オルガン・独唱奉仕者だけで一つのテーマに沿って演奏することもあります。

クリスマスには「クリスマス音楽の集い」として、聖歌隊、ヴァイオリン、フルート、声楽などバラエティ豊かな演奏で喜びをお客様と分かち合います。

「祈りと音楽の集い」も40回を超え、今では教会外からリピーターの方も増えました。西は岡山、東は和歌山からお客様が来られることもあり、未信者

の方の参加も増え、オルガンの魅力を味わっていただいています。

来る10月13日には「歌とオルガンで綴るミサ」としてイギリス、フランス、ドイツの作曲家によるミサの音楽をお聴きいただけます。

どうぞみなさまのお越しをお待ちしております。



(典礼部音楽チーム)

<http://facebook.com/rokko.organ/com/>

六甲春秋

～中村神父によるエッセー 第4回～秋の前触れに想う



福知山の田舎を車で走っていたところ、小さな緑色のイガ栗が道路に落ちていた。いくら暑い日が延々と続くといっても、静かに秋が近づいている。西日が強く車の窓から差し込み疲れきってしまったが、自然は着実に秋の気配を強めているのだ。そういえば朝と夕べは爽やかな風が吹き抜け、幾分かしのぎ易くなった。夕飯の食卓には有難いことに、甘くておいしい梨や葡萄が上るようになったのではないかな。

六甲教会に赴任して以来、新たな嬉しい発見の一つは同級生との定期的な交歓である。卒業してほぼ50年以上の間はその重大さに全く気づかなかった。それぞれの生路をがむしゃらに歩むまま、時たま個人的に会って話したことはあったが、しかし共に人生の秋を迎える同期生が時に集まり、なじみの場所で酒を酌み交わしながら談笑する。私の場合は高校生としての3年間だけの関わりではあるが、人によっては小中高ばかりか大学の4年間も同期の者もいる。そこには、他の付き合いや交流には無い独特の雰囲気がある。どんな話題や悩みであっても、誰もがすぐに理解し共感できるからなのだろうか。

卒業以来の永い年月、人知れず踏み越えた山や谷の多さ、喜怒や哀楽の浮き沈み、出会いと別れの色模様など何も言わなくても互いに通じ合える。さらに皆が例外なく80歳の台（あるいはカウントダウン寸前）を迎え、改めて生老病死の重い定めには誰も一喜一憂している。マダラ模様で現れる認知症、嫌な検査や怖い手術の差し迫

り、今までの生きがいであった仕事や活動の手放し、慣れた所ですみずきヨロメく危なさ、物忘れや取り違えの多さなどなど、同年配ならば一切の説明はいらない。他人事ではなくまさに私のこと、痛いほどすぐに思い当たる。また残念ながら自他ともに、外目の頑健さや強壮さにあまり信頼をおけない。怪我や病気は本人の注意や用心によっても、いつも避けられパスできる保証もあるまい。因果応報を越えた災難が突然にまるで無差別かのように降りかかり、人はただ泣き叫びながらこの不意打ち（神の摂理？）を引き受けるばかり。この人生の秋が抱えるキワドサの連帯感も、言わず語らず共有している。しかし時には、どんなに振り返ってみても高校生時代のオトナシイ姿や言行から、現在の生き方の頼もしさやガメツサがどうにも結びつかない怪物たちがいる。勿論かつての物腰や容貌がそのまま、過ぎ去った60年の月日を全く感じさせないソックリサンもいるが。

9月16日の午後、六甲カトリック教会で三日月会（70歳以上の信徒、総数は618人とか）の総会と懇親会があった。参加者は100人ほどだったが、なかなかの壮観だった。足腰はいささか不自由であっても、主なる神がお呼びになる時まで人生の旅路を共に祈り助け合いながら全うしようではないか。信仰を同じくする仲間・同志・戦友として、もっと親しく関わり合いたいものだ。
(中村 健三 合掌)

10月予定表

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		福音宣教のための特別月間 (～31日まで)			初金曜日ミサ 第2回社会活動 部連絡会	←蚤の市寄贈品 受付 (10月4日～)
6	7	8	9	10	11	12
年間第27主日						社会活動部炊出し 秋の黙想会
13	14	15	16	17	18	19
年間第28主日 小教区評議会 祈りと音楽の集い	教会受付休み (体育の日)				聖ルカ福音記者	典礼部会
20	21	22	23	24	25	26
年間第29主日 世界宣教の日 (献金) バザー委員会						教会学校 練成会 (～27日)
27	28	29	30	31		
年間第30主日 施設管理部会	聖シモン 聖ユダ使徒					